

山中湖平野ワンドにおける水生植物について（2013年夏期）

長谷川 裕弥, 吉澤 一家

The hydrophytes in the Cove of Lake Yamanaka (2013 year summer)

Yuya HASEGAWA and Kazuya YOSHIZAWA

キーワード：山中湖，平野ワンド，水生植物，沈水植物

近年、湖沼の水質環境の悪化や外来生物の侵入等により生物多様性が低下していると指摘されている。富士山北麓に位置する富士五湖では、1967年から水生植物調査が実施されている¹⁾。しかし、この水生植物調査は数年間隔でしか実施されておらず、生物多様性の変遷を評価するためには、毎年調査することが望ましい。

本調査では、富士五湖の中でも水生植物出現種数の多い山中湖の平野ワンドにおいて水生植物調査(主に沈水植物を中心)を行ったので報告する。

調査地点及び採取方法

図1に示す山中湖平野ワンドにおいて、2013年9月9日に水生植物調査を実施した。沈水植物は自作の採取鉤（直径約30cm）を用いて採取した。各採取地点で水深1mの位置から鉤を湖岸線と平行になるように3回投げ、巻き取られた沈水植物を採取した。図1の観測線に沿って移動しながら、水深1mごとに沈水植物が採取できなくなるまでこの作業を行った。沈水植物の採取方法は、吉澤ら(2005)に準拠して調査した³⁾。また、最も沈水植物を採取した地点の沈水植物量を100%として目視で被度を算出した。

調査結果

1 確認された水生植物について

本調査より、山中湖平野ワンドでは表1に示したホザキノフサモ、セキシヨウモ、クロモ、センニンモ、ホソバミズヒキモ、コオニビシの合計4科6種の沈水植物及び浮葉植物が確認された。平野ワンド内では、水深2m以上になると沈水植物はほぼ確認できなくなった。ホザキノフサモは16地点で確認され優占種であった。次いでセキシヨウモとクロモが9地点で確認された。ホソバミズヒキモは2000年以前の調査では確認できなかったが、近年出現

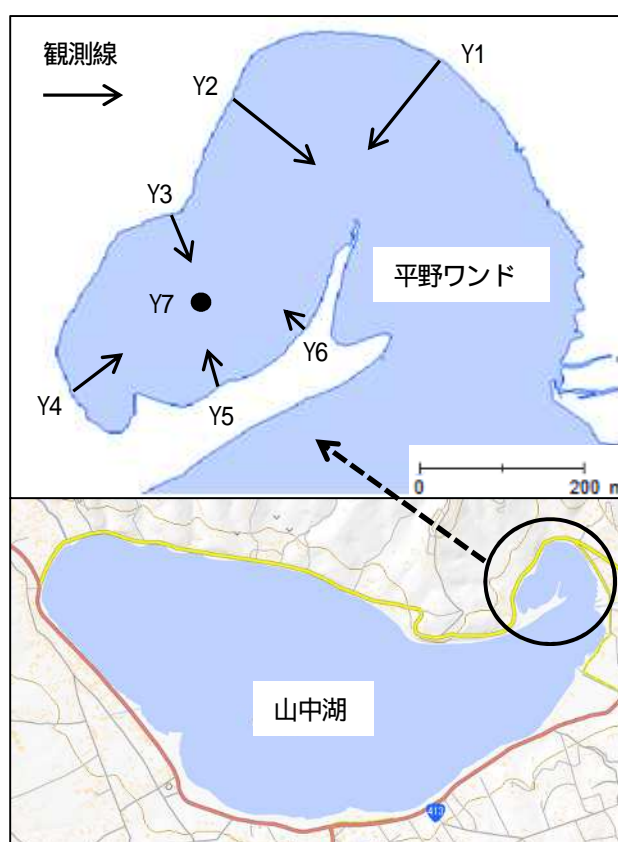


図1 平野ワンドにおける調査地点²⁾

頻度や範囲が大きくなっている。2008年夏期に山中湖の水生植物の分布を調査した芹澤ら⁴⁾の報告でも、平野ワンドではホザキノフサモが優占種であったと報告しており、近年水生植物の優占種は変化していないと推察された。

一方で外来種のコカナダモは本調査では全く確認できなかった。コカナダモは1986年⁵⁾に大群落を形成し湖面を覆い尽くしていたが、2000年³⁾には小規模の群落に縮小し、2008年⁴⁾の調査では確認されなくなっている。

表1 各調査地点で確認された水生植物

地点名	Y1				Y2				Y3		Y4		Y5		Y6		Y7	
	1m	2m	3m	4m	1m	2m	3m	4m	1m	2m	1m	2m	1m	2m	1m	2m	3m	
水深																		
被度 (%)	40	30	3	1	10	30	40	1	20	1	100	100	100	100	3	5	-	
ホザキノフサモ																		
セキショウモ																		
クロモ																		
センニンモ																		
ホソバミズヒキモ																		
コオニビシ																		

2 ホザキノフサモ群落水域

調査地点Y4及びY5において、ほぼ100%の割合でホザキノフサモが確認された。目視で確認できたホザキノフサモの群落水域を図2に示した。平野ワンドの入り江奥でホザキノフサモ群落水域が確認でき、波の穏やかな水域では他の沈水植物より繁殖しやすいと推察された。1969年に調査した岩田ら(1971)⁶⁾や2010年に調査した吉澤ら(2011)⁷⁾の報告でも、同様の水域でホザキノフサモの群落を確認されている。また、Y4地点では浮葉植物のコオニビシが確認され、光量が届きにくい環境であるにもかかわらず沈水植物のホザキノフサモ群落がみられた。

図2 ホザキノフサモの群落水域²⁾

今後の予定

2014年の夏期に山中湖平野ワンドにおいて、観測地点を増やし水生植物の水平分布の詳細調査を行っていく予定である。また、2013年及び2014年の水生植物調査の結果を過去の調査結果と比較するとともに、水質調査等の結果とも合わせて解析していきたい。

まとめ

2013年9月9日に山中湖平野ワンドにおいて水生植物調査した結果、以下のことが明らかになった。

- 1) 平野ワンドにおいて4科6種の沈水植物及び浮葉植物が確認された。
- 2) 平野ワンドにおける優占種は、ホザキノフサモ、セキショウモ、クロモの3種であった。
- 3) 外来種のコカナダモは確認できなかった。
- 4) 平野ワンドの入り江奥でホザキノフサモの群落水域が確認された。

参考文献

- 1) 延原肇 岩田好宏 生嶋功:富士山総合学術調査報告書, 559-577, (1971)
- 2) 国土地理院:地図閲覧サービス
- 3) 吉澤一家 有泉和紀 永坂正夫:日本陸水学会甲信越支部会報, 31, 81-89, (2005)
- 4) 芹澤如比古ら:富士山研究, 8, 7-14, (2014)
- 5) 早川良太:水草研究会報, 26, 2-5, (1986)
- 6) 岩田好宏 生嶋功:富士山総合学術調査報告書, 578-585, (1971)
- 7) 吉澤一家ら:山梨県総合理工学研究機構研究報告書, 6, 1-19, (2011)